



At the Center of Scene

社会を支える“確かな歯車”で在りたい

日本ギア工業株式会社

NIPPON GEAR CO., LTD. 証券コード：6356

2019年3月期決算説明資料

2019年6月

NIPPON
gear 

1. 会社概要
2. 特徴・強み
3. 2019年3月期決算
4. 2020年3月期決算見通し
5. 中長期成長戦略
(参考資料)



At the Center of Scene

社会を支える“確かな歯車”で在りたい

NIPPON GEAR CO., LTD.

会社概要

会社概要：発電所向け歯車・歯車装置のトップ・メーカー



- 社名 : 日本ギア工業株式会社
- 事業内容 : **歯車・各種歯車装置の製造・組立・メンテナンス**
- 代表取締役社長 : 寺田 治夫 (筆頭株主 株式会社成和 取締役)
- 所在地 : 神奈川県藤沢市桐原町7番地 (本社・製造部門)
- 設立 : 1938年12月5日 (創立80周年)
- 資本金 : 13億8,880万円 (2019年3月末現在)
- 売上高 : 73億9,300万円 営業利益 : 4億6,100万円 (2019年3月期)
* 連結子会社なし
- 主要顧客 : **全国の電力会社 (発電所) など**
- 上場市場 : 東京証券取引所第2部 (証券コード : 6356)
- 従業員数 : **352名** (2019年3月期)
- 大株主 : 株式会社成和 39.3% (2019年3月末現在)

当社製品 (減速機など) の製品・サービスの販売代理店
配管装置、発電所 (火力・原子力・水力)、
上下水道施設向けの新エネルギー機器、環境装置の等の販売を展開

事業内容： 装置製造・販売 + メンテナンス

生産実績



歯車及び歯車装置事業

歯車・歯車装置の製造・販売

- ・バルブ・コントロール
- ・ジャッキ
- ・ミキサー

+

工事事業

自社製品のメンテナンス

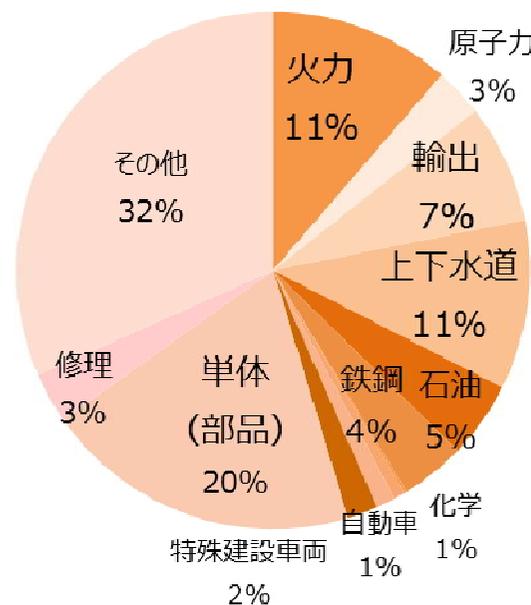
歯車 歯車装置

製品



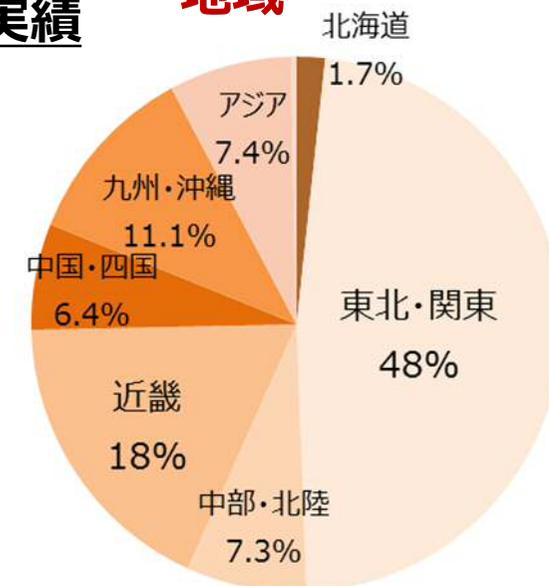
(2018年3月期)

業種



販売実績

地域



NIPPON GEAR CO., LTD.

沿革：製品「国産化」へ、自動車部品製作からスタート

1923年 創業者晴山直吉が「晴山自動車機械工業」を創業（自動車部品の国産化）

1938年 株式会社化「晴山自動車工場」として設立（創立80周年）

その後、歯車専門メーカーとして事業転換

1954年 製造品目の変遷で社名を「日本ギア工業」に変更

1961年 東証・大証二部上場

1963年 米国フィラデルフィア・ギア社との技術援助契約締結で事業拡大

1963年 国内ではじめて電動バルブ・コントロールを製作

**技術の蓄積
新技術の開発**

日本の原子力発電所創世期に米国フィラデルフィア・ギア社の製品が納入

「原子力発電所国際化」という国策により、当社が納入を引継ぎ、製品供給規格を取得するなど、電力会社と信頼を構築

原子力発電所向け設備市場で圧倒的に有利な状況を確立

現在

市場動向：安定している歯車・歯車装置市場

歯車及び歯車装置市場

対象顧客：機械装置が必要な業種全て

自動車産業、産業機械、建設機械

そして工作機械等の製造業者、中でも産業機械向けが多い

バルブ・コントロール



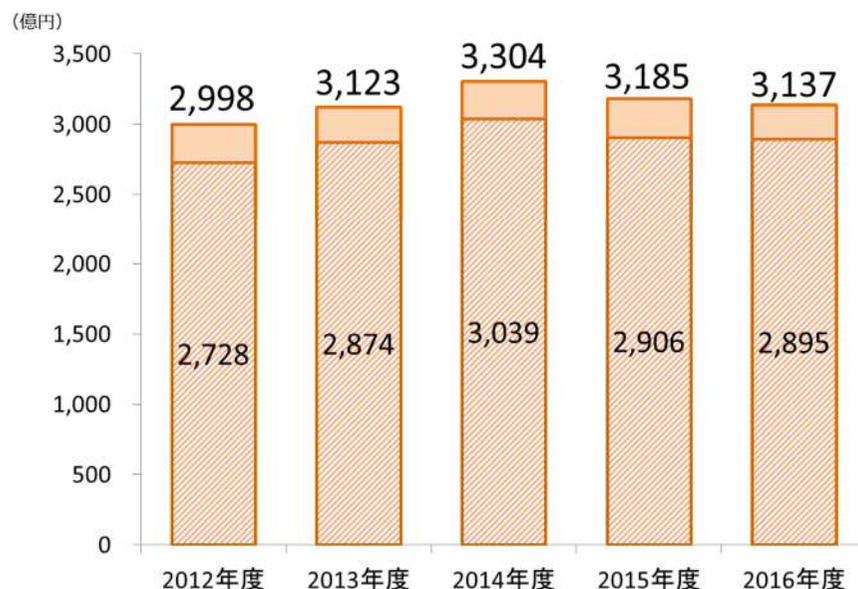
ベベルギア



市場は安定的に推移（市場規模の推移）

■ 歯車・歯車装置事業（全体）

■ 自動車産業、産業機械、建設機向けの歯車・歯車装置事業（内数）



国内市場で競争力の高い製品

- ・高品質・納期厳守で優位性
- ・海外での価格競争力は劣位
(原料の鉄鋼材料は、鉄鉱石市況を左右する中国の需給に影響を受ける)
(海外企業は海外現地で大量生産)



At the Center of Scene

社会を支える“確かな歯車”で在りたい

NIPPON GEAR CO., LTD.

特徴・強み

経営理念・ミッション (使命)

人と暮らしをつなぐ歯車となり、豊かな未来を創造する。
社会を支える“確かな歯車”で在りたい。

ビジョン (あるべき姿)

歯車装置メーカーとして培ってきたもの造り技術を高度化し、
未来への技術革新に挑戦するリーディング・カンパニーへ

主要取引先・電力会社との強固な信頼関係を構築

＊原子力発電所創世期に納入された米国フィラデルフィア・ギア社製品を、「原子力発電所国際化」という国策により、当社が引継ぎ製品供給規格を取得

1. 歯車の一貫加工体制（受注生産体制）

高精度歯車を中心として、加工から熱処理まで安定した品質提供

2. 多品種・小ロット品対応

原子力・火力・石油化学・鉄鋼向けに納入実績が多く高い評価

(特殊オーダーにも応える技術力・顧客要求対応力)

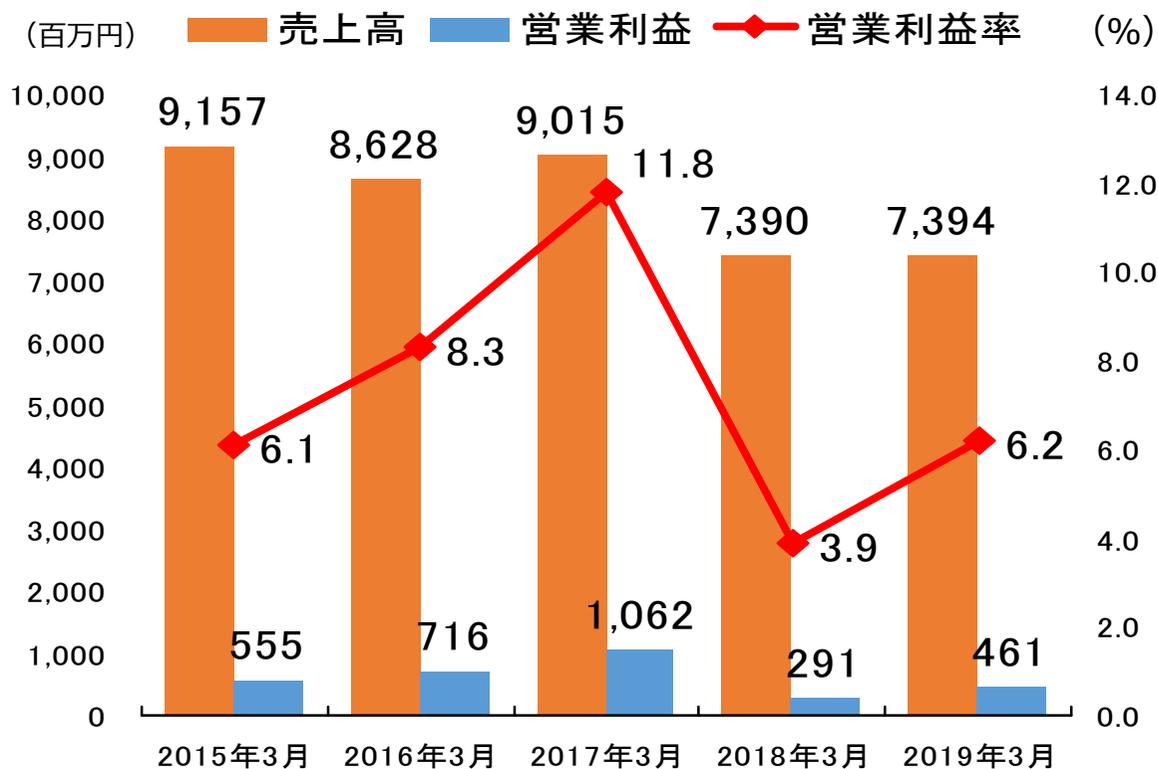
(24時間体制緊急事態対応可能：全国各地の発電所近くに事業所あり)

3. メンテナンスでの純正部品提供による信頼・高品質なサービス

安定した市場を背景に堅調に推移

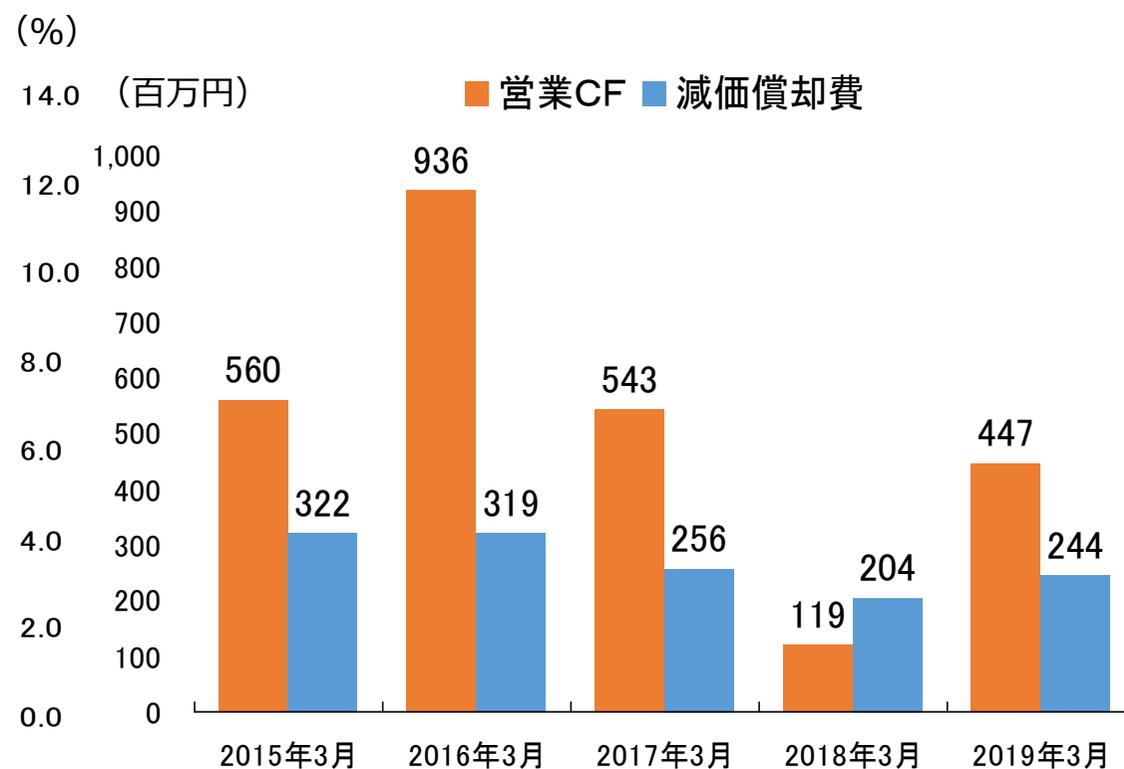
売上高・営業利益・営業利益率

2018年3月期は工事事業の定期点検の減少による影響あり。



営業CF・減価償却額

継続的な営業CF創出力。減価償却費は安定的に推移。



歯車及び歯車装置事業

・歯車

産業機械用歯車の需要が増加

・歯車装置

・バルブ・コントロール

東日本大震災後、原子力発電所向け受注は減少、他方、火力発電所向けが大幅に増加

・ジャッキ

設備投資の回復により受注が増加

・ミキサー

火力発電所更新案件の受注が増加

+

工事事業

・メンテナンス

堅調な需要と多様化がすすむ

・国内発電所（火力・水力・地熱・原子力）
上下水道設備、石油化学プラントなど

需要が多様化・増加傾向

・但し、東日本大震災後、
火力発電所フル稼働で火力発電所は
メンテナンスの見通したたず



At the Center of Scene

社会を支える“確かな歯車”で在りたい

NIPPON GEAR CO., LTD.

2019年3月期決算概要

売上微増だが、営業利益（+58.3%）、経常利益（+59.4%）は 期初計画上回る大幅増

- **売上高**……………**7,393百万円（+0.1%）**

歯車・歯車装置はバルブ・コントロール好調で増加、他方工事減少。

* 受注高は8,097百万円（+1.9%）

- **営業利益**……………**461百万円（+58.3%）**

製品原価横ばい。生産性向上などによる販管費抑制で大幅増加。

- **当期純利益**……………**317百万円（+45.8%）**

特別損益計上はなく、前期比+1億円増加。

2019年3月期決算概要（非連結決算）

売上高7,393百万円（+0.1%）

利益額は期初計画上回る 営業利益461百万円（+58.3%）

（百万円）

（百万円）	2018年3月期	構成比 （%）	2019年3月期	構成比 （%）	前期比 （%）	期初 計画
売上高	7,390	100.0	7,393	100.0	+0.1	8,000
売上原価	5,137	69.5	5,173	70.0	+0.7	
売上総利益	2,252	30.4	2,220	30.0	△1.4	
販売費及び一般管理費	1,960	26.5	1,759	23.8	△10.3	
営業利益	291	3.9	461	6.2	+58.3	320
経常利益	297	4.0	473	6.4	+59.4	320
当期純利益	217	2.9	317	4.3	+45.8	220

2019年3月期セグメント事業の概要

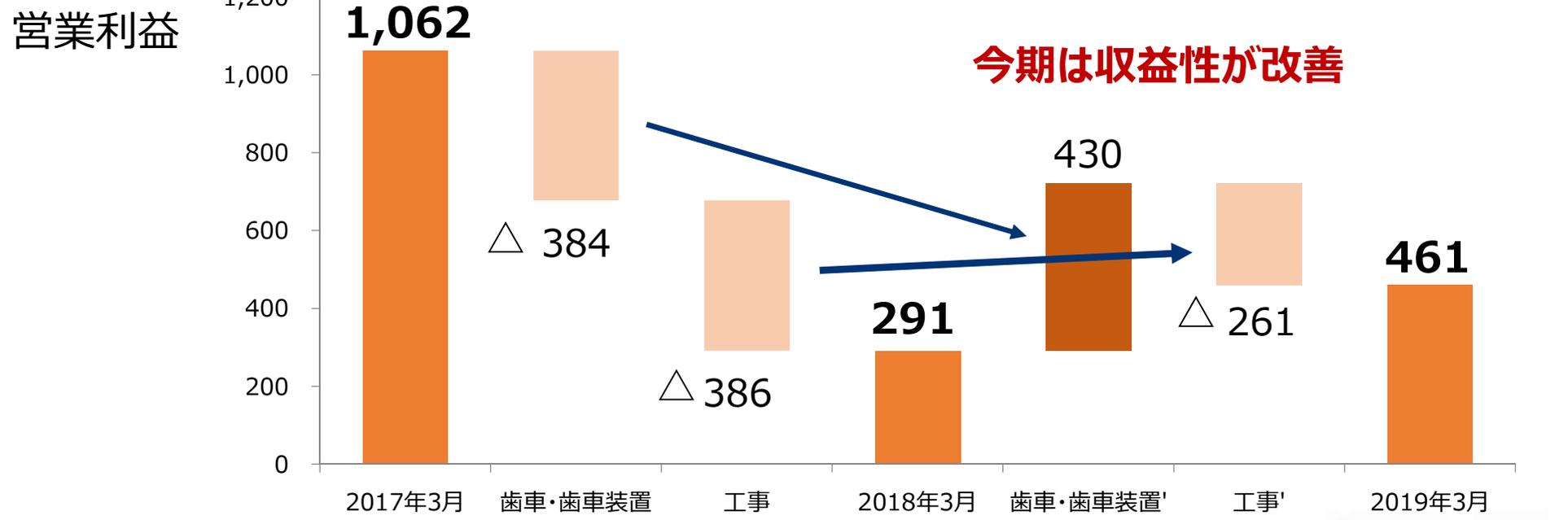
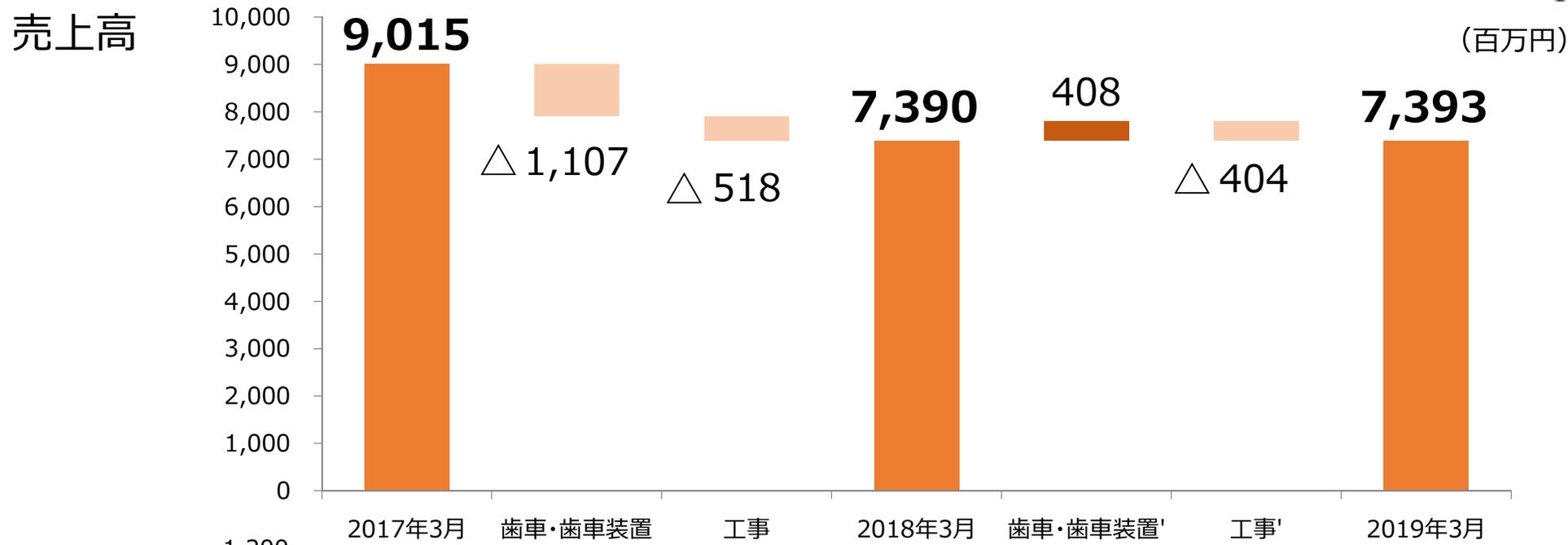
営業利益率3.9%⇒6.2%

歯車及び歯車装置・・・増収、黒字化：バルブ・コントロール、鉄道・船舶用歯車受注が増加
 工事・・・・・・・・・・・・定期検査工事（発電所など）減少などで受注減少だが、営業利益は確保

(百万円)

	(百万円)	2018年3月期	2019年3月期	前期比
歯車及び 歯車装置	売上高	5,132	5,540	+408
	営業利益 (営業利益率)	△175 (-%)	255 (4.6%)	+430
工事	売上高	2,257	1,853	△404
	営業利益 (営業利益率)	466 (20.6%)	206 (11.1%)	△260
合計	売上高	7,390	7,393	+3
	営業利益 (営業利益率)	291 (3.9%)	461 (6.2%)	+170

売上高・営業利益増減要因分析



バランス・シートの状況

受注増・売上増を反映、流動資産・負債が増加、借入金長期化を進める。
自己資本比率は70.5%と高水準（前期は72.8%）

資産の部	2019年3月期末	前期末比
流動資産	8,029	+696
現預金	2,614	+102
受取手形・売掛金 電子記録債権	3,209	+333
商品・製品・仕掛品 原材料・貯蔵品	2,107	+359
固定資産	3,111	△120
有形固定資産	1,899	△61
無形固定資産	221	△20
資産合計	11,141	+577

負債の部	2019年3月期末	前期末比
流動負債	2,461	+314
支払手形・ 買掛金	1,468	+357
短期借入金	222	△197
固定負債	811	+98
長期借入金	605	+172
純資産	7,868 (70.5%)	+164
(内自己株式)	(△33)	(△0)
負債・純資産合計	11,141	+577

キャッシュ・フロー

フリー・キャッシュ・フローは黒字化 : 営業C Fが増加し、投資が一段落

(百万円)	2017年4月 ~2018年3月	2018年4月 ~2019年3月	増減	備考欄
現金・同等物 期初残高	2,661	2,512	△149	
営業活動C F	119	447	+328	増益・仕入債務の増加など
投資活動C F	△542	△ 205	+337	
フリーC F	△423	242	+665	
財務活動C F	274	△ 140	△414	短期借入金の返済
現金・同等物 期末残高	2,512	2,614	+102	



At the Center of Scene

社会を支える“確かな歯車”で在りたい

NIPPON GEAR CO., LTD.

2020年3月期通期見通し

事業環境

歯車・歯車装置 : 足元の受注動向変わらず。
バルブ・コントロール中心に堅調な需要を見込む。

工事 : 原子力発電所は徐々に再稼働の動きがあるが、火力発電所を含め
定期検査工事には、まだ時間を要する見込み。停滞続く。

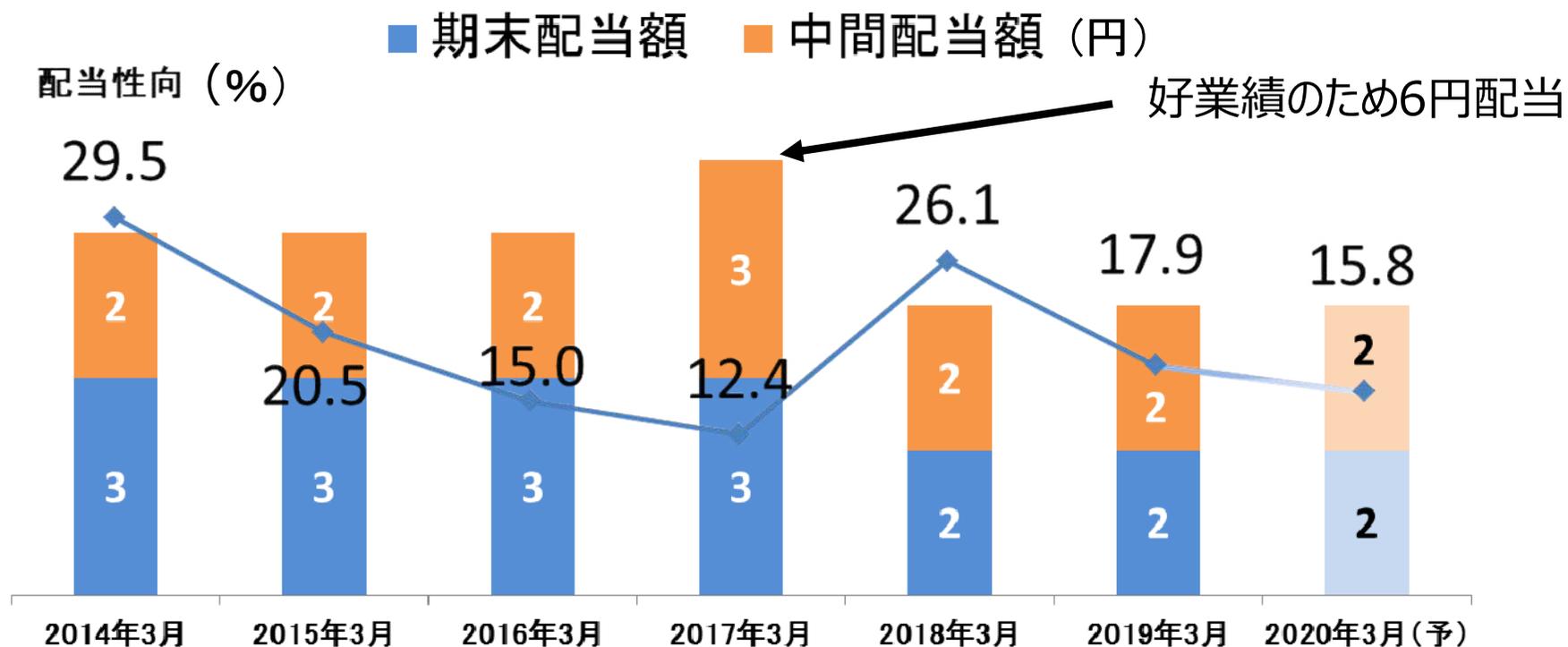
2020年3月期見通し

- 売上高.....7,600百万円 (+2.8%)
- 営業利益.....520百万円 (+12.8%)
- 当期純利益.....360百万円 (+13.5%)

前期に引き続き、堅実な成長と収益改善を見込む (営業利益率：2019年3月期6.2% ⇒ 6.8%)

	2019年3月期 (実績)	構成比 (%)	2020年3月期 (計画)	構成比 (%)	前期比 (%)
売上高	7,393	100.0	7,600	100.0	+2.8
売上原価	5,173	70.0	-	-	-
売上総利益	2,220	30.0	-	-	-
販売費及び一般管理費	1,759	23.8	-	-	-
営業利益	461	6.2	520	6.8	+12.8
経常利益	473	6.4	520	6.8	+9.9
当期純利益	317	4.3	360	4.7	+13.5

- 利益創出範囲内での「積極的な株主還元」と「中長期成長投資」のバランスを配慮
- 配当額 2019年3月期通期（予定）：4円（中間2円+期末2円）
2020年3月期（予想）：4円（同上、配当性向15.8%）





At the Center of Scene

社会を支える“確かな歯車”で在りたい

NIPPON GEAR CO., LTD.

中長期成長戦略

- 事業環境の見方（電力業界に対する見方）
 - 電気事業連合会
 - 火力・水力・地熱力・原子力のバランスのとれた電力供給先を打ち出す

基本方針

他社との競争に打ち勝ち、着実な成長する企業を目指す。

歯車固有技術の高度化

歯車・歯車装置事業

大型歯車加工機械の導入を牽引役に石油・化学・火力発電所向けに販売強化
上下水道向けにシェアアップ

- ・バルブ・コントロール……新製品開発と海外での拡販
- ・ジャッキ……高付加価値製品へ改良開発
- ・その他増減速機……メンテナンス事業と連携、新市場へ参入

工事（メンテナンス）事業

センシング技術の導入
・製品の分解不要で状況把握とデータ収集が可能
・技能向上で発電所元請受注の拡大

電力会社（火力・原子力発電所）への元請受注の拡大
他社製減速機の点検ビジネスの獲得

地球環境に優しい歯車・歯車装置の導入

企業理念

基本理念

当社は、地球環境と人間尊重の精神を基本とし、歯車とその応用である歯車装置の生産における、すべての企業活動を通じて、安心して生活できる環境の保全と向上に努めます。

基本方針

1. 法規制・顧客要求、その他の要求事項を遵守するとともに、生産活動による環境への影響を考慮して、汚染の予防と環境保全の継続的改善を実施します。
2. 環境保全は、発生抑制が基本と考え、規制対象物質の削減、省エネルギー・省資源によるエネルギーの節約と廃棄物の減量に努め、目的・目標を設定し定期的に見直しをはかります。
3. 従業員一人ひとりの環境保全意識を高め、職場ごとの自主管理を徹底します。
4. 地域社会の一員としての自覚を持ち社会との共生に努めます。
5. 環境方針は、全従業員に周知徹底するとともに公開します。



At the Center of Scene

社会を支える“確かな歯車”で在りたい

NIPPON GEAR CO., LTD.

ご参考資料（主力製品・生産拠点など）



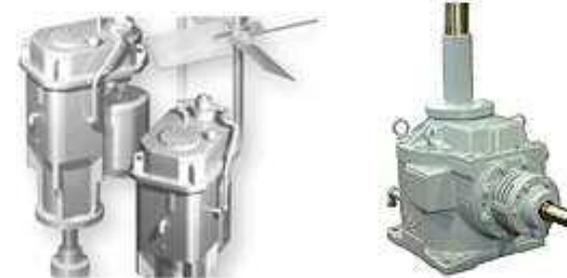
バルブ・コントロール

米国フローサーブ社との技術提携により国産化し、誕生から70余年の伝統と実績を誇り、高い評価と厚い信頼を獲得しています。



ジャッキ

豊富なラインナップをもつ日本ギアのジャッキ。ギアとねじによって回転運動を直線運動に変えることにより、昇降・傾動・押引・保持等に幅広くご使用いただける直動機械です。



歯車装置

歯車の設計・製作技術とその応用技術を蓄積している日本ギアは、高性能ギアドライブの設計・製造にも対応。発電所や水処理場の攪拌機、発電タービン用減速機等を製作しています。



歯車

「歯切り加工から歯車精度測定まで」長年にわたって蓄積した加工技術と最新鋭設備によって生産された日本ギア工業の歯車は、厳しい品質管理システムによりご要求の品質にお応えします。



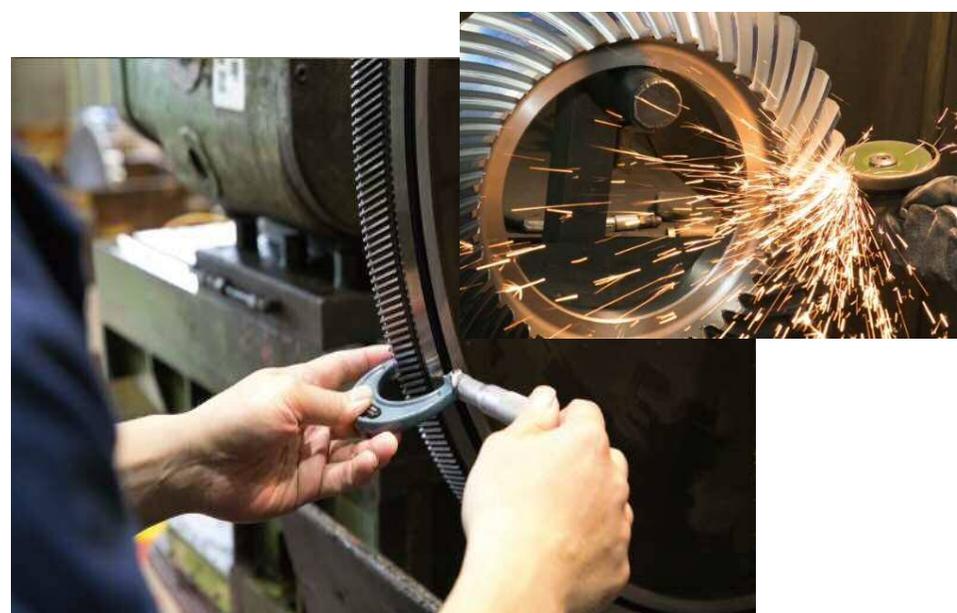
通信・制御・検出用機器

幅広いニーズに対応するデジタル制御システム、省力と効率向上に寄与する自動化システム及びセンサーをご提案しています。

製造拠点

本社工場：神奈川県藤沢市

【支店・営業所】横浜・大阪・札幌・名古屋・広島・福岡
【事業所】神奈川・宮城・福島・新潟・千葉・石川・京都



NIPPON GEAR CO., LTD.

- 本資料は、当社の事業及び業界動向について当社による現在の予定、推定、見込み又は予想に基づいた将来の展望についても言及しています。
- これらの将来の展望に関する表明は、様々なリスクや不確かさが伴っています。既に知られた、もしくははまだ知られていないリスク、不確かさその他の要因が、将来の展望に対する表明に含まれる事柄と異なる結果を引き起こさないとも限りません。当社は、将来の展望に対する表明、予想が正しいと約束することはできず、結果は将来の展望と著しく異なることもありえます。
- 本資料における将来の展望に関する表明は、2019年6月5日現在において利用可能な情報に基づいて、当社により2019年6月5日現在においてなされたものであり、将来の出来事や状況を反映して将来の展望に関するいかなる表明の記載をも更新し、変更するものではありません。

日本ギア工業株式会社

証券コード：6356

2019年3月期決算説明資料

2019年6月

連絡先：管理部（I R担当） mail: ir.ml@nippon-gear.co.jp